

「特定健診の成績を用いたメタボリックシンドロームの変遷とリスク因子の研究」 に関する公示

特定健診の成績を活用して新しい知見を見いだし、県民の健康増進に寄与することが公益法人としての宮崎県健康づくり協会の使命の一つとされています。その一環として、「特定健診の成績を用いたメタボリックシンドロームの変遷とリスク因子」を解明するための研究に取り組むことになりました。そこで、「個人情報保護法」や「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に勧告されている指針に従って、研究計画を開示することにいたします。

特定健診は開始より10年が経過し、第3期に突入しています。この間に、メタボリックシンドローム（メタボ）や関連する生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満、腹部肥満、肝機能異常など）や、メタボ発症のリスク要因などに変動はないかという疑問を解明することがこの研究の目的です。その変動を吟味することにより、特定健診や特定保健指導の効果を評価します。そして、今後の問題点を探し、必要となる予防策を提言したいと考えています。

この研究は2018年8月7日から2020年8月6日までの2年間に行う予定です。使用する健診データは、性、年齢、身長、体重、腹囲、血圧値、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、AST、ALT、 γ GTP、血糖、生活習慣に関する問診（喫煙、飲酒、運動）、血圧薬・脂質薬・血糖薬の服用の有無です。

2008年度、2013年度、2018年度の特定健診受診者が研究の対象となります。対象者についてメタボとその関連因子の出現頻度を比較します。さらに、各年度におけるメタボ発症に寄与する因子の変遷を推測統計学的方法を用いて調べます。これらの情報に接触できるのは、特定健診に従事する当協会の医師に限定します。

個人情報の取り扱いに関する当協会の基本方針は、このホームページや健診受診票に「個人情報の保護について」として開示してあります。本研究に用いる個人情報は、専用のコンピュータに保管され、個人が識別できないような加工を施し、匿名化されていますので、完全に保護されています。

本研究についての質問や疑問がありましたら、また、健診情報の使用中止を希望される場合には、本施設の下記の窓口へご相談下さい。

相談窓口：このホームページの「個人情報保護指針」のなかの「お問い合わせ窓口 総務課 電話 0985-38-5512」。